



## 食農教育活動

5月から始まった農業体験学習。今年は淳城西小学校の4年生と5年生がそれぞれ2回ずつ体験学習を行いました。10月3日に行われた最後の体験では、5年生69人が6月に定植したさつまいもの収穫を行いました。

この日は、雨の降るあいにくの天気でしたが、児童は雨具を着て元気に作業に取り組みました。大きく実ったさつまいもや何個も連なったさつまいもを掘り出すと、「こんなに大きいのが取れた!」、「いっぱいさつまいもがついている」と歓声が上がり、満面の笑みを浮かべていました。また、4年生が定植したねぎの収穫も行い、児童らは1人5本ずつ抜き取っていきました。

作業後には、採れたてのさつまいもを焼き芋にして食べ、児童は秋の味覚を楽しみました。

女性部の佐々木部長は「今回の体験で農業の楽しさ、大変さを知ってくれたと思う。ごはんも野菜も残さず食べて大きく育ててもらいたい」と児童らに話しました。



↑多くの来場者が試食しました



↑協力して準備をする女性部員

## 新米を使った料理を提供

藤里町の文化と収穫を楽しむ、2017町民祭「白神のふるさとまつり」が10月28日と29日の2日間にわたって開催され、多くの来場者で大盛況となりました。

女性部藤里支部では、新米料理の無料配布を行い「塩こんぶと枝豆の混ぜご飯」と「かぼちゃのスープ」の2品、約200食を準備し来場者に提供しました。新米の甘い香りとかぼちゃの匂いに誘われて、女性部コーナーの前には行列ができ、用意した料理は1時間程度でなくなりました。

料理を食べた人からは「新米はもちろんおいしいし、枝豆が入っているので色合いもとてもいいです。本当においしかったです」と喜んでいました。また、藤里営農センターでは白神和牛の販売、生活課では白神ねぎラー油や家電製品などを特価で販売し、女性部と共に町民祭を盛り上げました。